

冬季 無災害運動推進中

運動期間

令和5年12月1日～令和6年2月29日

こんな所が危険です！

屋外通路

出入口

(段差・スロープ等)

駐車場

(車周辺+歩行中)

冬季特有災害の事故の型では転倒災害が大部分を占め、特に事業場玄関、屋外通路、駐車場で多く発生しています。

冬季特有災害の半数は気温の低い深夜から早朝に発生しており、最高気温が氷点下の日には昼間時間帯にも多く発生しています。翌日が氷点下まで冷え込む前日には、注意喚起をしましょう。

冬季無災害運動期間前に、**照明設備の確認**や**凍結防止剤・マット等**の準備をしましょう。

凍結も圧雪もシャーベットも 転倒リスクが潜んでいます



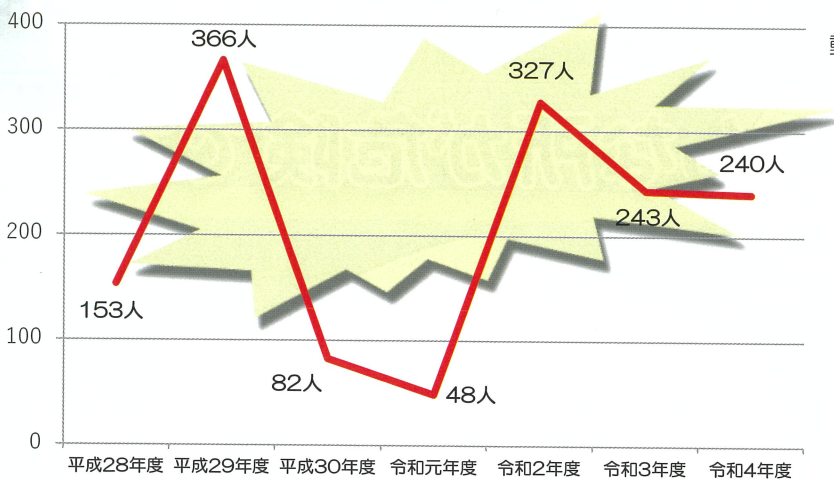
転倒災害防止のポイント

- ① 屋外通路には、凍結防止剤を散布することにより凍結による転倒災害を防止する。
- ② 事業場玄関には、転倒防止用シート・マットを敷くことにより、滑りにくくし転倒災害を防止する。
- ③ 夜間・早朝の駐車場から事業場玄関までを安全に歩行できるように、十分な照明設備を備え、転倒災害を防止する。
- ④ 耐滑性の高い靴を履くことで、滑りにくくし転倒災害を防止する。
- ⑤ 屋外歩行では、両手に荷物を持ったり、ポケットに手を入れるなどせず、万が一転倒しても受け身を取れるようにし、被害を最小限にする。

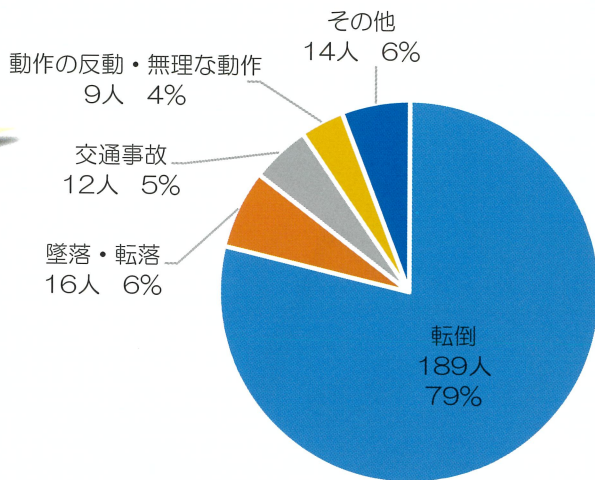


雪による労働災害に注意!!

雪による労働災害発生件数の推移（新潟県_休業4日以上）



事故型別労働災害発生状況（新潟県_休業4日以上）

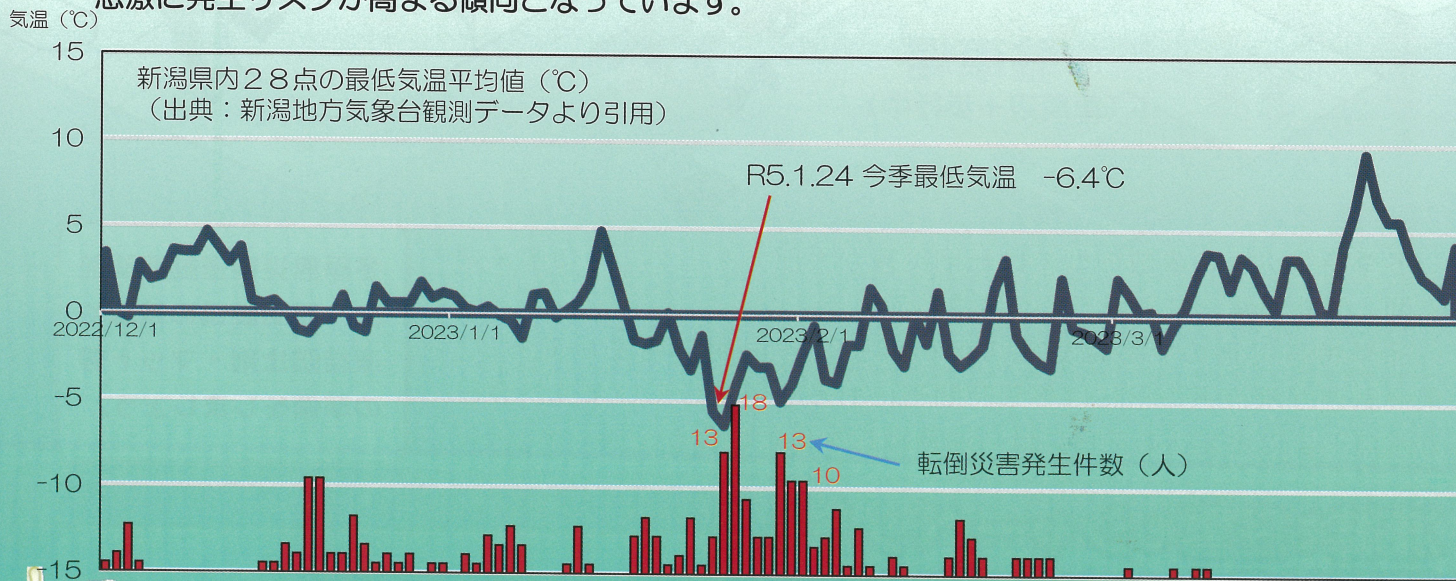


※ 統計期間「令和4.12.1～令和5.3.31」

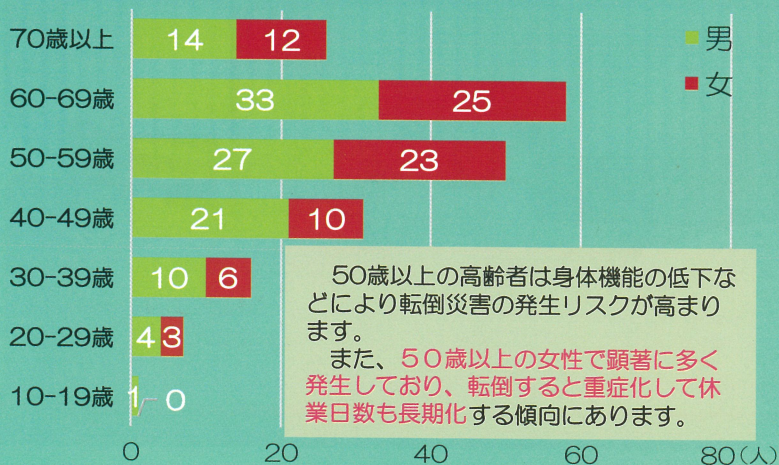
冬季無災害運動期間中（12～3月）の転倒災害発生状況

積雪・凍結等による転倒災害では…

最低気温は、その地域によってバラツキはありますが、相対的に最低気温が氷点下2度以下となると、急激に発生リスクが高まる傾向となっています。



（図9）年齢別・男女別発生状況



50歳以上の高齢者は身体機能の低下などにより転倒災害の発生リスクが高まります。
また、50歳以上の女性で顕著に多く発生しており、転倒すると重症化して休業日数も長期化する傾向にあります。

※表の数値は労働者死傷病報告（休業4日以上）の雪による転倒労働災害（189件）を分析したものです。

大雪や低温に関する気象情報を迅速に把握しよう！

（参考）新潟県ホームページ「新潟県の雪の情報」
<http://www.chiiki.pref.niigata.jp/yuki/>

敷地内の出入口、駐車場、屋外通路の転倒リスクの重点的な点検、注意喚起等、労働者の年齢・性別に応じた対策を取りましょう！

STOP 転倒災害

検索